

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 丹屋奥谷西川通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名	Bor. No. 3	調査位置	広島県福山市水呑町 地内	北 緯	34° 26' 28.6561"
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	2019年 9月 13日 ~ 2019年 9月 17日	東 経	133° 22' 20.1363"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コ ン プ レ ッ シ ョ ン 確 定 者		ボーリング責任者			
孔口標高	T. P. 115.18m	角 度		方 位	
総削孔長	4.00m	地盤勾配		使用機種	東邦地下工機 D1-B
		エンジン	ヤンマー NFD-13	ポンプ	東邦地下工機 BG-3C

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現 場 土 質 名 (模様)	現 場 土 質 名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔内水位/測定水位	標準貫入試験						試料採取	室原位置試験	削孔月日				
												深度-N値図		N	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量				50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試 料 採 取 方 法
1	114.18	1.00		砂 礫		淡 褐			新生代第四紀	堆積堆積物に相当。φ5~25mmの角礫を多数含む。0.4m以深は風化土の可能性を否定しない。	0	10	20	30	40	50	1.15	30	20	50	170			9/13
2	113.18	2.00		強風化流紋岩		褐			中生代白亜紀	1.7mまでは砂泥じり土砂状、以深は角礫状コアを呈す。岩芯風化により岩片は軟らかい。【剛硬岩盤に相当する】							1.32	貫入不能	50	0			9/13	
3				風 化 流 紋 岩		淡 褐 灰			中生代白亜紀	割れ目の集中具合により、岩盤状況は安定さを欠く。概ね大塊の角礫~岩片状コアが主体をなす。岩片は中硬質な硬さを保つ。ランダム方向の割れ目が発達し、割れ目に沿ってやや強く薄片化する。3.76~3.93m間、局所的に上砂化を伴う。【CL級岩盤に相当する】								2.00	貫入不能	50	0			9/17
4	111.18	4.00															3.00	貫入不能	50	0			9/17	
5																	4.00	貫入不能	50	0			9/17	